

25. 危機管理が身についているつもり

三橋和子 50代 百貨店勤務 府中市在住

- どこに誰といましたか。

日本橋百貨店 1 階のショップで接客中に、「あら地震？」と目と目で確認のようなことをしたのが始まりです。しかし異常に長く大きな揺れに、入口のガラス扉が波を打ち始め、外の街路灯と信号機がミリミリ音をたてぶつかりそうでした。

幸い、ショップの中の棚の商品は落ちませんでした。店内はだんだん騒然となってきましたが、「店内は安全ですが、中央の吹き抜けのまわりには近づかないよう」と絶えずアナウンスが流れていました。大きなシャンデリアは、今にも落ちそうでした。すでに交通もストップし、出入りに座り込むお客様が 100 人くらいになってきました。閉店が近づくと店内のアナウンスは、「閉店の時間が近づいていますが、電車が動くまで店は開けています」と流れていました。（最終的に2-300 人が泊まった模様。）

- どのように自宅に帰りましたか。

働いている者たちの帰り方は各自が決めるので、一人暮らしの 40 キロ先の自宅に帰るのは断念し、唯一、電話がつながった目白の同僚がその日休みだったので、もう 1 人の同僚と泊めてもらうため歩きだしました。20 時頃でした。

都心から歩く道すがら、九段あたりは車の大渋滞。コンビニは食べ物を買回る人たちでいっぱい。22 時過ぎても歩いている人が多く、歩けば体も温かくなり、2 人だったこともあり、2 時間歩いた実感はありませんでした。

- 自宅では何か起こっていましたか。

翌日、木造 2 階家の自宅に戻り、火事にもならず変わらない姿にほっとしました。

- 最後にひとこと。

私の最初の勤務は 35 年前、新宿の三井ビルの 1 階でした。そのころあったのは京王プラザ、住友ビル、三井、野村ぐらいでした。5-6 年いた間にも中程度の地震があり、最上階のレストランのテーブルの上の物が全部落ちたとか、ビルとビルがぶつかりそうに揺れたとか、怖いことがありました。

そのせいか、常に地震になったらどうしようと、自然に危機管理が身についたようです。この度のことで、常に心がけることの大切さを実感しました。その後も勤務先が異動になるたびに、避難場所を確認する癖がついています。

★こうなったら→こうする→いろいろな想定で★

2011 年 9 月 4 日